



2025 年（令和 7 年）9 月 19 日午後 2 時

大阪科学・大学記者クラブ 会員各位
枚方記者クラブ 会員各位
関西国際空港記者会 会員各位
（同時提供 大阪府：府政記者会）

魚庭(なにわ)の海実感プロジェクト『森・里・街・川・海のつながり』
現場体験型プログラム「自然のつながり実感！体験会」第 2 弾
小中学校への出前授業も募集中！

おおさか環農水研は、第 45 回全国豊かな海づくり大会大阪府実行委員会と共催で、2026 年 11 月に開催が予定されている第 45 回全国豊かな海づくり大会「魚庭（なにわ）の海おおさか大会」の機運を醸成するため、「魚庭（なにわ）の海 実感プロジェクト『森・里・街・川・海のつながり』」を実施しています。

このたび、魚庭の海を実感できる体験プログラム第 1 回から 3 回※に引き続き、第 4 回から第 6 回の体験プログラムと、小中学校への出前授業の募集を開始いたします。

※第 1 回から第 3 回についてのご案内は以下の Web サイトをご覧ください。

<https://www.knsk-osaka.jp/suisan/info/doc/2025082800018/>



■現場体験型プログラム「自然のつながり実感！体験会」

第 4 回 大阪湾でとれる魚を見てみよう！そして近くの海中に捨てられたゴミとは？

日時：令和 7 年 10 月 19 日（日曜日）午前 10 時から午後 3 時まで

場所：岸和田市旧港地区緑地（通称アクアパーク・ボードウォーク）（岸和田市港緑町）
及び岸和田市漁業協同組合周辺（岸和田市地蔵浜町）

概要：ダイバーによる水中清掃の観察の他、漁港で水揚げされた魚介類や、実際に魚をさばく様子を見ることを通じて、大阪府内の漁業を実感できます。

第 5 回 ヨットに乗って大阪湾について考えてみよう

日時：令和 7 年 11 月 3 日（月曜日・祝日）午前 9 時半から正午まで

場所：大阪北港マリーナ（大阪市此花区常吉 2 -13-18）

概要：ヨットに乗る体験や生き物観察会を通じて、大阪湾について考え、街や川と海とのつながりを実感できます。

第 6 回 清く豊かな海を育む森の大切さを体験しよう

日時：令和 7 年 11 月 16 日（日曜日）午前 9 時 30 分から午後 0 時 30 分まで

場所：星の里いわふね（交野市私市 9 -4 -8）

概要：森や里の自然観察を通じて、豊かな海づくりには森での取組みが欠かせないこと、また森・里・街・川・海が全てつながっていることを実感できます。

各回ともご参加いただくにあたっては事前申込が必要です。また昼食代をお支払いいただく回

がございます。各回の詳細やお申込みは、下記に記載の大阪府 Web サイトの「魚庭（なにわ）の海 実感プロジェクト『森・里・街・川・海のつながり』」をご覧ください。

■小中学校への出前授業

児童や生徒に森・里・街・川・海のつながりを感じ、大阪府内の漁業や大阪湾の環境保全に興味を持つきっかけとしてもらうため、小中学校への出前授業を実施します。

実施期間：令和 7 年 11 月 1 日（土曜日）から令和 8 年 2 月 28 日（土曜日）

出前授業：上記の実施期間中に、申込校と調整のうえ、授業の一コマ等でクラスや体育館等で実施予定

（内容）

- ・大阪湾の特徴（地形、とれる魚、操業される漁業等）
- ・森の栄養分が里や川を通じて海に流れ、大阪湾の生態系や水産資源の豊かさにつながる
- ・豊かな大阪湾を守るために私たちができること

申込期間：令和 7 年 9 月 19 日（金曜日）午後 2 時から令和 7 年 10 月 31 日（金曜日）午後 12 時まで

申込対象：大阪府内の小中学校

出前授業をご希望される小中学校は、以下の Web サイトから詳細をご確認いただき、お申込みください。

魚庭（なにわ）の海 実感プロジェクト『森・里・街・川・海のつながり』Web サイト
https://www.pref.osaka.lg.jp/o120130/suisan/zen_yutaumitaikai/jikkanproject.html



上記に加えて今後、セミナー（1 回）を開催する予定です。詳細については決定次第追ってお知らせします。

問合せ先：体験会の取材申込み、海づくり大会ならびにプロジェクト全般について
大阪府環境農林水産部 水産課 全国豊かな海づくり大会推進グループ
担当：吉栖 電話 06-6210-9612

体験会で見られる生きものや自然環境などについて
地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所（環農水研）
企画部企画グループ 担当：山本 電話 072-979-7070

環農水研は第 45 回全国豊かな海づくり大会大阪府実行委員会の一員として、大会開催の機運醸成に取り組んでいます。

